東京都、漁業人材確保へ支援センター 就業後もサポート

#関東 #東京

2022/4/19 2:00

東京都が設置した「東京漁業就業支援センター」の窓口（3月下旬、都庁）

東京都は漁業の担い手確保を目的に、人材の募集や就業後のサポートをする「東京漁業就業支援センター」（愛称・東京フィッシャーズナビ）を立ち上げた。就業希望者が中核を担えるようになるまで伴走しながら支援する。深刻になっている漁業の人手不足や高齢化に歯止めをかけたい考えだ。

都漁業協同組合連合会や島しょ地域の漁協と連携し、求人情報を提供したり、漁業者とマッチングしたりする。都産業労働局水産課内に窓口を設け、電話でも来所でも相談に応じる。スキルアップ研修の企画運営、就業後のカウンセリングもする。

都によると、都内の漁業への就業は、別の地域から移住してくる「Iターン」が半数を占める。土地勘がない上に身寄りもおらず、定着率が低いのが現状という。

担当者は「これまで漁業の就業に関する専門の問い合わせ先がなかった。就業希望者と地元漁協の橋渡しをしていく」としている。